



DCF療法 を受けられる患者さんへ

治療薬

ドセタキセル注

- 細胞分裂に必要な微小管（チューブリン）の働きを阻害してがん細胞の増殖を抑えます。

シスプラチン注

- がん細胞のDNAの合成を阻害して、がん細胞の増殖を抑えます。

フルオロウラシル注


- がん細胞遺伝子の合成や機能を障害することにより、がん細胞の増殖を抑える作用があります。

治療スケジュール

薬	日にち	day1	day2	day3	day4	day5
ドセタキセル注		●				
シスプラチン注		●				
フルオロウラシル注		●	●	●	●	●

3週間毎

外用薬

	用法・用量	効果
AZ含嗽用配合細粒 	1日5回	口やのどの粘膜の炎症を抑え、局所の清浄や傷の治りを早くします。

点滴スケジュール

メインルート

側管より

治療前日



12時間

- 生理食塩液 1000mL (ハイドレーション)

1日目



12時間

- 生理食塩液 1000mL (ハイドレーション)



- アロキシ点滴静注
- デキサート注

吐き気止め



- 生理食塩液 100mL
- プロイメンド点滴静注

吐き気止め



- 生理食塩液 50mL (ルート流し)



- ビカネイト輸液 500mL
- 硫酸Mg補正液

60分

点滴スケジュール

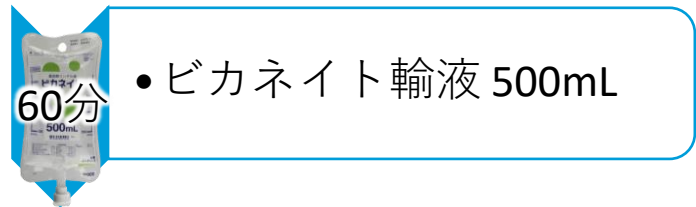
1
日
目

メインルート

側管より



- マンニトールS 注射液 300mL
利尿剤 (Diuretic)



- ビカネイト輸液 500mL

点滴スケジュール

メインルート

2日目



- 生理食塩液 1000mL
- フルオロウラシル注

3日目



- 生理食塩液 1000mL
- フルオロウラシル注

4日目



- 生理食塩液 1000mL
- フルオロウラシル注

5日目



- 生理食塩液 1000mL
- フルオロウラシル注

6日目



- 生理食塩液 50mL (ルート流し)

側管より



- 生理食塩液 50mL / デキサート注
- 吐き気止め
- 生理食塩液 1000mL / 硫酸Mg補正液



- 生理食塩液 50mL / デキサート注
- 吐き気止め
- 生理食塩液 1000mL / 硫酸Mg補正液



- 生理食塩液 50mL / デキサート注
- 吐き気止め



- 生理食塩液 50mL / デキサート注
- 吐き気止め

フルオロウラシル注は
24時間から数時間前後
することがあります。



◆ 特徴的な副作用

- **浮腫（むくみ）**

体重が増えたり、顔や脚がパンパンに膨れたりすることがあります。むくみは肺や心臓にも負担がかかる場合もありますので、日頃から体重を測りましょう。

- **爪の変化**

爪をつくる細胞にも影響を及ぼし、爪が黒く変色したり、ひどい場合ははがれることもあります。治療が終われば元に戻りますが、爪が完全に元に戻るまでは半年から1年半くらいかかります。

- **手足のしびれ（末梢神経障害）**

治療後3～5週間後から、手足がしびれたり、刺すような痛みがあったり、手の指や足の裏の感覚が変わってきたり、鈍くなったりすることがあります。

- **涙目**

涙に排出されたドセタキセルによって涙を目から鼻の方へ流す管が狭くなり、涙があふれる場合があります。

起こる頻度の高い副作用

➤ 骨髄抑制（白血球、ヘモグロビン、血小板減少）

血液中の細胞成分は白血球・赤血球・血小板の3種類で、骨髄で造られ、化学療法の副作用により骨髄の機能が低下し減少します。

白血球、血小板は7～14日目で最も減少します。

白血球 (好中球：NEUT)

白血球（好中球）は細菌から体を守る働きをしていますので、白血球が低くなると体の抵抗力が弱くなり、感染症を起こしやすくなります。

マスクをしたり、手洗いやうがいをして感染を予防しましょう。

赤血球 (ヘモグロビン： Hb)

赤血球の中のヘモグロビンは酸素を体中に運ぶ役割をしており、減少すると貧血症状（動悸、めまい、息切れ、頭痛、倦怠感、立ちくらみ等）が現れます。

ヘモグロビンがかなり下がると赤血球輸血することがあります。

血小板（PLT）

血小板には血を止める働きがあります。血小板が5万より減少すると出血（血が止まりにくい、鼻血が出やすい、青あざができやすい）しやすくなります。

血小板がかなり下がると血小板輸血することがあります。

起こる頻度の高い副作用

➤ 吐き気（悪心）・嘔吐、食欲不振

消化管（口・胃・腸）の粘膜や脳の中樞を刺激することによって起こります。数時間後に始まることが多いようですが、人によっては数日間続く場合もあります。つらい時は我慢せず、早めに言いましょう。吐き気止めとして処方された薬があれば服用して様子を見てください。

吐き気止め

メトクロプラミド錠5mg
（プリンペラン）



1回1錠（6時間以上あけて）

ロラゼパム錠0.5mg
（ワイパックス）



1回1錠（6時間以上あけて）

➤ 便秘

便秘になることがあります。下剤等を服用して調節してください。

下剤

酸化マグネシウム錠330mg
（マグミット）



1回1～2錠 毎食後（自己調節）

センナエキス錠80mg
（ヨーデル）



1回1～2錠 寝る前

➤ 下痢

下痢のときは脱水症状を防ぐため、十分な水分補給を行いましょう。下痢止めや整腸剤が処方されている場合は、服用して様子を見てください。下剤を服用している場合は、中止しましょう。

下痢止め

ロペラミド錠1mg
（ロペミン）



1回1C（6時間以上あけて）

整腸剤

ミヤBM錠
ビオフェルミン



1回1～2錠(包) 毎食後（自己調節）

起こる頻度の高い副作用

➤ 口内炎

口の中・歯肉・咽頭がしみる、ヒリヒリする、赤くなるといった症状が出る場合があります。口の中を清潔に保つよう心がけましょう。

➤ 脱毛

薬によって髪が抜けるものと抜けないものがあります。また、髪の抜け方にも個人差があります。治療後2～3週間後あたりから毛が抜け始め、髪以外の部分（体毛・眉毛・陰毛）でも起こります。治療が終了して6～8週間後には毛が生え始め、約半年でほぼ回復します。

注意が必要な副作用

➤ アレルギー反応

薬に対する過敏反応が起きることがあります。点滴中に下記の症状があったらすぐに医療スタッフにお伝えください。

- ・息苦しい
- ・胸が痛い
- ・心臓がドキドキする
- ・顔がほてる
- ・汗が出る
- ・発疹が出る

➤ 血管炎・静脈炎

血管痛が起こることがあります。また、注射液が血管の外に漏れてしまうと注射部位が硬くなったり、腫れて痛みを生じることがあります。痛みを感じたらすぐに医療スタッフにお伝えください。

➤ 間質性肺炎

空咳、息苦しさ、息切れ、発熱等の風邪のような症状が出たときは、すぐに医師に連絡してください。

自己判断で市販の風邪薬等を服用しないでください。

その他の副作用

➤ 疲労感・倦怠感（だるさ）

点滴後に疲労感やだるさが生じることがあります。

➤ 発疹

皮膚が赤くなったり、かゆみを伴うこともあります。放置せず早めに伝えてください。

➤ 腎障害

膀胱や腎臓に影響を与える場合があります。

予防として、意識して多めに水分摂取するよう心がけましょう。

体重が増えたときやむくみがあるときは、利尿剤が追加されることがあります。



➤ 肝障害

肝臓に影響を与えることがあります。

➤ 味覚・嗅覚の変化

治療によって味覚と嗅覚が変化してしまい、食べ物が苦く嫌な味がしたり、塩味に鈍感になったり、匂いが鼻について食欲が低下したりすることがあります。

その他の副作用

➤ 聴覚（聴力）障害

聴こえにくかったり、耳鳴りが起こったりすることがあります。

➤ 心機能障害

動悸や頻脈が起こったり、脈が飛んだりすることがあります。

➤ しゃっくり（吃逆）

プロイメンド注（吐き気止め）によって起こることがあります。比較的男性によくみられます。

下記の薬が処方されていれば服用して様子を見てください。

しゃっくり止め

メトクロプラミド錠5mg
（プリンペラン）

1回1錠（6時間以上あけて）



バクロフェン錠5mg
（リオレサル）

1回1錠（6時間以上あけて）



上記のような副作用が主に挙げられますが、必ずこれらの副作用が起こるわけではなく、人によって個人差があります。

副作用を抑える薬もありますので、気になることがあれば何でも伝えてください。





Osaka International Cancer Institute